

V. (2) 令和元年度 能勢高校 SGH 研究発表会

令和元年度 能勢高校 SGH 研究発表会

令和2年2月15日(土)

能勢町浄るりシアター小ホールにおいて、今年度のSGH課題研究の集大成となる、令和元年度SGH研究発表会を開催した。地域住民、SGHに協力のあった方を含め100名超の参加があった。

本校は平成27年度に文部科学省より、スーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定され、「国際協力の現場で判断力と実践力を培うグローバル人材育成」をテーマに掲げて、研究開発に取り組んできた。5年め、最終年度となる今年度は、3年生4名のSG重点分野講座受講生たちが、「経済発展と自然破壊～マレーシア オイルパームプランテーションと森林破壊～」をテーマに、8月にマレーシアにて実態調査を行い、課題研究を進めてきた。

また、豊中高等学校能勢分校の2年生8名は、SGH継承講座である、プレGS課題探究重点講座を受講しており、そのうちの4名がドイツのシュタットベルケの視察研修に能勢町職員とともに現地を訪問した。さらに令和2年1月にマレーシア サラワク州クチンにて海外実態調査を行い、この調査報告も含め、発表を行った。そして、これらの活動の中で課題研究を能勢町での地域創生に生かせないかを考え、「能勢町活性化への提案」というかたちで発表した。

生徒の研究発表、一年間の活動の感想の後、SGH運営指導委員の先生方の指導講評、大阪教育大学 乾陽子先生の助言があった。そして、SGH最終年度である今回はこの5年を振り返り、卒業生からのメッセージ、主に指導いただいた乾先生から5年分の講評を受け、最後は能勢町長が締めくくった。これで終わりではなく、引き続きこれらの課題研究や提案をもとに、能勢町並びに住民の皆様と連携をはかりながら能勢町活性化に貢献していきたい。

◆当日のプログラム・内容◆

1. 学校長挨拶・来賓紹介・今年度の取組み説明
2. 運営指導委員等紹介
3. **SGH全国高校生フォーラム 課題研究発表《英語》**
『Economic Development and Environmental Destruction
～Oil Palm Plantation and Deforestation～』

3年：後 大成、大城 伊織

12月22日に東京で開催されたSGH全国高校生フォーラムで発表した課題研究。パームオイル生産と自然破壊、環境保全対策に焦点を当て、発表した。

4. **豊中高校能勢分校2年GS課題探究重点講座 海外調査報告《日本語発表》**

『マレーシア サラワク州海外調査報告』

2年：泉 明日美、竹田 莉央、中植 航太、中尾 帆介

令和2年1月17日(金)～19日(日)にマレーシアへの修学旅行に先駆けて出発し、マレーシアサラワク州ボルネオ島、クチンで行った調査について報告した。

5. **豊中高校能勢分校2年GS課題探究重点講座 課題研究発表《日本語発表》**

『能勢版シュタットベルケを考える～再生可能エネルギーと地方創生～』

・「間伐材の可能性」

2年：大西 琉斗、森村 虹海、泰江 弥樹、吉本 優志

能勢町の80%を占める森林に注目し、間伐する際にできる間伐材に着目し、能勢町での利用における可能性を探った。

・「高校生の主張～ドイツから学ぶ未来の能勢～」

2年：泉 明日美、竹田 莉央、中植 航太、中尾 帆介

能勢町と連携し昨夏に行ったドイツ視察で学んだことを、能勢の



地域創生にどう生かしていけばよいかを考えた。

6. 豊中高校能勢分校2年GS課題探究重点講座・
能勢高校3年SG重点分野講座 課題研究発表 《日本語発表》
『経済発展と自然破壊

～マレーシア オイルパームプランテーションと森林破壊～』

- ・「パームオイル需要の急増について」

2年：合田 周平、長嶺 汰輝 服部 拓実、八木 大樹

世界で生産される植物油の中でパームオイルは規模・量とともに世界一となった。この課題研究では、その需要の急増の理由と背景を考察した。

- ・「熱帯雨林とオイルパームプランテーション
～持続可能な生産とは～」

3年：後 大成、大城 伊織、齊藤 大晟、中岡 優仁

マレーシアでのパームオイル生産が環境に与える影響と、それに対して行われた対策に焦点を当て、経済発展と環境保護のバランスの問題を考察した。

- ・『マレーシアのパームオイル産業と環境保全
～日本での地方創生の観点から考察する～』

3年：大城 伊織

環境に配慮し持続可能な方法で生産されたパームオイルを使って石鹸を生産・販売している会社に着目し、能勢町でも同じ手法で石鹸会社を起業し、事業を展開するというビジネスプランを提案した。

7. 生徒による感想（全員）

本日の発表者16名が壇上に上がり、この一年間の学びを通して気付いたことや感じたことを述べた。

8. 運営指導委員による指導講評

平岡光生氏（能勢町商工会顧問）

大石なつ美氏（一般財団法人千里文化財団 理事兼事務局長）

乾陽子氏（大阪教育大学准教授）

9. 5年間を振り返って

小路昌秀さん（平成29年卒業生）

大城桜子さん（平成30年卒業生）

平田篤州氏（一般社団法人檸檬新報舎代表理事）

片寄俊秀氏（みつや交流亭代表理事）

伊井直比呂氏（大阪府立大学教授）

乾陽子氏（大阪教育大学准教授）

上森一成氏（能勢町長）

10. 謝辞

11. 閉会

☆小ホール内にて発表展示を行った



V. (3) 関係機関への影響・成果

- 能勢町行政が、本校 SGH と町による地域連携講座を5回実施し、来年度に向けても連携を続けることとなった。
- 能勢町町長、行政職員とともに SGH 継承事業であるドイツでの海外実態調査、視察研修を行った。今後も関係を深め、継続して活動していく。
- 能勢小学校において、職員への課題研究発表を経た後、小学5年生の環境の授業に継承事業の2年生が講師として教壇に立った。
- 関西テレビでの報道から本校の活動を知った「千里コラボ大学」に継承事業の2年生が講師として招かれた。

V. (4) 国内外の大学や企業、国際機関等との連携

(1) 国内の大学・高校との連携

【大学】

- ・大阪市立大学（講師派遣・講義・WS）
- ・大阪教育大学（講師派遣・講義・WS）
- ・大阪府立大学（講師派遣・講義・WS）
- ・大阪大学（大学訪問・講師派遣・講義・WS）
- ・公立鳥取環境大学（大学訪問・講義・WS）
- ・北陸大学（講師派遣・講義・WS）

【高校】

- ・大阪府立豊中高等学校（文化祭合同チャリティー活動・遠隔ネットシステム発表交流）
- ・島根県立隠岐島前高等学校（遠隔ネットシステム発表交流）
- ・宮崎県立飯野高等学校（遠隔ネットシステム発表交流）
- ・大阪暁光高等学校（情報交流）

(2) 国外の大学・高校との連携

【大学】

- ・国立プトラマレーシア大学（調査訪問・課題研究）

【高校】

- ・ドイツ ブリロン市高校 ギムナジウムペトロナム（訪問交流、課題研究の英語発表）
- ・マレーシア SMK アスタ高校（姉妹校）（訪問交流、課題研究の英語発表）

(3) 国内外の企業等との連携

- ・イング総合計画株式会社（講師派遣・講義・WS）
- ・エスペロ能勢（講師派遣・講義・WS）
- ・サラヤ株式会社（講師派遣・講義・WS・工場見学）
- ・スタジオ・アーバン・スペース・アート（講師派遣・講義・WS）
- ・ドイツ シュタットベルケ（調査・フィールドワーク）
- ・株式会社ノズプロダクション（講師派遣・講義・WS）
- ・株式会社 E-konzal（講師派遣・講義・WS）
- ・日本政策金融公庫大阪創業支援センター（ビジネスプラン作成指導）
- ・能勢農家民宿「みちくさ」（講師派遣・講義・WS）
- ・みやまスマートエネルギー株式会社（講師派遣・講義・WS）
- ・Cheers Inc.（講師派遣・講義・WS）
- ・NTT 西日本（課題研究発表）
- ・SALCRA (Sarawak Land Consolidation and Rehabilitation Authority)
- ・Sawit Kinabalu

(4) 国際機関、NGO 等との連携

- ・オイスカ関西研修センター（講師派遣・講義、アジアからの研修生との交流、支援活動）

- ・在大阪モンゴル国総領事館（行事協力参加）
- ・在ドイツ日本国大使館（講師派遣・講義・WS）
- ・在デュッセルドルフ日本国総領事館（海外調査協力）
- ・ノルトライン=ヴェストファーレン州政府環境農業局（海外調査協力）
- ・ブリロン市（海外調査協力）
- ・ブリロン市教育委員会（海外調査協力）
- ・農業食品工業省サバ農政局
- ・NPO アースウォーカーズ（情報交流）
- ・NPO みどりの郷（講師派遣・講義・WS）
- ・NPO 森は海の恋人（講師派遣・講義・WS）
- ・NPO 箕面子どもの森学園（講師派遣・講義・WS）
- ・一般社団法人 コアプラス（講師派遣・講義・WS）
- ・公益財団法人 箕面市国際交流協会（MAFGA）（講師派遣・講義・WS、訪問研修）
- ・公益財団法人 AFS 日本協会（留学生受入）
- ・公益社団法人 国土緑化推進機構
- ・大阪能勢田尻菊炭振興協議会

(5) その他の連携

- ・環境省環境計画課（講師派遣・講義・WS）
- ・国境なき医師団（講師派遣・講義・WS）
- ・静岡県掛川市（講師派遣・講義・WS）
- ・浄るりシアター（講師派遣・講義・WS）
- ・千里文化センター（講師・講義）
- ・ドイツ在住バリスタ・飲食店コンサル（講義・WS）
- ・トリガーワークス（講師派遣・講義）
- ・トゥルース Dosen（講師派遣・講義・WS）
- ・能勢さとやま創造館（講師派遣・講義・WS、里山保全活動）
- ・能勢町首長部局
- ・能勢町議会（課題研究、提言、海外調査の共催）
- ・能勢町教育委員会（講師派遣・講義・WS）
- ・能勢町住民（留学生受入）

(6) 報道機関

- ・環境ビジネス
- ・関西テレビ
- ・広報「のせ」
- ・「コラボ新聞」
- ・日本農業新聞
- ・能勢町議会だより

(敬称略 順不同)

VI. 関係資料

(1) アンケート・分析

令和元年度 SGH アンケート結果 令和元年度入学生(1年生)

① アンケート

令和元年度SGHアンケート結果			令和元年度入学生		
分野	設問内容	回答	1年次(R01)		増減
			第1回	第2回	
			R01.5	R02.2	
国際意識	1 日本の文化や歴史に興味がある	①②	62	64	2
		③④	38	36	
	2 日本の文化や歴史は外国から正しく理解されていると思う	①②	50	46	-4
		③④	50	54	
	3 日本の未来は自分たちの努力で変えていくことができると思う	①②	73	75	2
		③④	27	25	
	4 世界各国の文化や歴史に興味がある	①②	53	50	-3
③④		47	50		
5 国際社会で起こっている問題に興味がある	①②	30	39	9	
	③④	70	61		
6 世界の文化の中で、日本の文化が自分にとって一番良いと思う	①②	77	64	-12	
	③④	23	36		
7 国と国の対立を話し合いで解決するのは可能であると思う	①②	67	64	-2	
	③④	33	36		
環境問題	8 地球温暖化などの環境問題に興味がある	①②	33	43	10
		③④	67	57	
	9 環境問題解決のために私たちにできることは多くあると思う	①②	77	68	-9
		③④	23	32	
	10 日本は環境問題解決のために良く努力していると思う	①②	53	43	-10
③④		47	57		
11 これからもっと環境問題について勉強したい	①②	40	39	-1	
英語	12 英語を学ぶのは好きである	①②	40	36	-4
		③④	60	64	
	13 自分は将来、英語力が必要だと思う	①②	70	54	-16
		③④	30	46	
	14 英語で自分の考えを伝えたり発表(プレゼンテーション)したりする力は必要であると思う	①②	67	46	-20
		③④	33	54	
15 自分は外国人とのコミュニケーションが 苦手である	①②	67	61	-6	
	③④	33	39		
16 語学力を測る試験(英検、TOEIC、TOEFL、IELTSなど)を受けたい	①②	20	21	1	
	③④	80	79		
17 コミュニケーションスキルとして英語をもっと伸ばしていきたい	①②	70	54	-16	
	③④	30	46		
将来の勉強・留学	18 高校時代に海外研修がしたい	①②	13	21	8
		③④	87	79	
	19 大学時代に海外留学がしたい	①②	10	18	8
		③④	90	82	
	20 海外の大学に進学したい	①②	7	7	0
21 将来やってみたい仕事の目標がある	①②	63	54	-10	
	③④	37	46		
22 将来は国際的な仕事がしたい	①②	20	14	-6	
	③④	80	86		
意見発表・プレゼン	23 グループ活動するとき、自分自身の考えをはっきり出せる	①②	43	43	0
		③④	57	57	
	24 グループ活動するとき、まとめ役(リーダー)ができる	①②	23	21	-2
		③④	77	79	
25 人前で発表するのは得意である	①②	27	25	-2	
	③④	73	75		
26 コンピューターなどICTを使った発表は得意である	①②	17	18	1	
	③④	83	82		
その他	27 地元(能勢地域)の文化や歴史に興味がある	①②	37	39	3
		③④	63	61	
	28 将来地元(能勢地域)で働きたい	①②	20	18	-2
		③④	80	82	
29 ボランティア活動全般に興味がある	①②	20	32	12	
	③④	80	68		
30 海外でのボランティア活動に興味がある	①②	17	25	8	
	③④	83	75		

①そう思う ②少しそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない [数値:%]

肯定的な回答(①そう思う、②少しそう思う)が、5%以上増加した項目について網かけをしている。

パーセント表示(四捨五入)のため、合計値が100にならないことがある。

令和元年度 SGH アンケート結果 平成 30 年度入学生(2 年生)

令和元年度SGHアンケート結果			平成30年度入学生										
分野	設問内容	回答	1年次(H30)			増減	2年次(R01)			増減	1年次		増減
			第1回 H30.6	第2回 H31.2	第1回 R01.5		第2回 R02.2	第1回 H30.6	第2回 R02.2				
国際意識	1 日本の文化や歴史に興味がある	①②	61	69	8	73	82	9	61	82	21		
		③④	39	31		27	18		39	18			
	2 日本の文化や歴史は外国から正しく理解されていると思う	①②	45	41	-4	53	54	0	45	54	8		
		③④	55	59		47	46		55	46			
	3 日本の未来は自分たちの努力で変えていくことができると思う	①②	71	83	12	70	71	1	71	71	0		
		③④	29	17		30	29		29	29			
	4 世界各国の文化や歴史に興味がある	①②	52	54	2	60	61	1	52	61	9		
③④		48	46	40		39	48		39				
5 国際社会で起こっている問題に興味がある	①②	48	48	0	57	75	18	48	75	27			
	③④	52	52		43	25		52	25				
6 世界の文化の中で、日本の文化が自分にとって一番良いと思う	①②	81	72	-8	80	86	6	81	86	5			
	③④	19	28		20	14		19	14				
7 国と国の対立を話し合いで解決するのは可能であると思う	①②	61	72	11	77	71	-5	61	71	10			
	③④	39	28		23	29		39	29				
環境問題	8 地球温暖化などの環境問題に興味がある	①②	65	62	-2	53	68	15	65	68	3		
		③④	35	38		47	32		35	32			
	9 環境問題解決のために私たちにできることは多くあると思う	①②	90	79	-11	87	75	-12	90	75	-15		
③④		10	21	13		25	10		25				
10 日本は環境問題解決のために良く努力していると思う	①②	55	52	-3	60	36	-24	55	36	-19			
	③④	45	48		40	64		45	64				
11 これからもっと環境問題について勉強したい	①②	52	52	0	50	54	4	52	54	2			
	③④	48	48		50	46		48	46				
英語	12 英語を学ぶのは好きである	①②	68	69	1	62	61	-1	68	61	-7		
		③④	32	31		38	39		32	39			
	13 自分は将来、英語力が必要だと思う	①②	84	83	-1	80	82	2	84	82	-2		
		③④	16	17		20	18		16	18			
	14 英語で自分の考えを伝えたり発表(プレゼンテーション)したりする力は必要であると思う	①②	87	83	-4	83	86	2	87	86	-1		
		③④	13	17		17	14		13	14			
15 自分は外国人とのコミュニケーションが苦手である	①②	77	79	2	100	96	-4	77	96	19			
	③④	23	21		0	4		23	4				
16 語学力を測る試験(英検、TOEIC、TOEFL、IELTSなど)を受けたい	①②	52	41	-10	40	46	6	52	46	-5			
	③④	48	59		60	54		48	54				
17 コミュニケーションスキルとして英語をもっと伸ばしていきたい	①②	90	86	-4	80	86	6	90	86	-5			
	③④	10	14		20	14		10	14				
将来の勉強・留学	18 高校時代に海外研修がしたい	①②	45	41	-4	20	25	5	45	25	-20		
		③④	55	59		80	75		55	75			
	19 大学時代に海外留学がしたい	①②	42	31	-11	30	36	6	42	36	-6		
		③④	58	69		70	64		58	64			
	20 海外の大学に進学したい	①②	6	10	4	7	11	4	6	11	4		
		③④	94	90		93	89		94	89			
21 将来やってみたい仕事の目標がある	①②	74	69	-5	67	68	1	74	68	-6			
	③④	26	31		33	32		26	32				
22 将来は国際的な仕事がしたい	①②	45	41	-4	37	39	3	45	39	-6			
	③④	55	59		63	61		55	61				
意見発表・プレゼン	23 グループ活動するとき、自分自身の考えをはっきり出せる	①②	52	61	9	40	64	24	52	64	13		
		③④	48	39		60	36		48	36			
	24 グループ活動するとき、まとめ役(リーダー)ができる	①②	35	28	-8	17	25	8	35	25	-10		
		③④	65	72		83	75		65	75			
25 人前で発表するのは得意である	①②	27	24	-3	20	36	16	27	36	9			
	③④	73	76		80	64		73	64				
26 コンピューターなどICTを使った発表は得意である	①②	29	21	-8	17	32	15	29	32	3			
	③④	71	79		83	68		71	68				
その他	27 地元(能勢地域)の文化や歴史に興味がある	①②	55	66	11	37	54	17	55	54	-1		
		③④	45	34		63	46		45	46			
	28 将来地元(能勢地域)で働きたい	①②	30	28	-2	37	25	-12	30	25	-5		
		③④	70	72		63	75		70	75			
	29 ボランティア活動全般に興味がある	①②	61	55	-6	63	64	1	61	64	3		
		③④	39	45		37	36		39	36			
30 海外でのボランティア活動に興味がある	①②	52	38	-14	33	39	6	52	39	-12			
	③④	48	62		67	61		48	61				

①そう思う ②少しそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない [数値: %]

肯定的な回答(①そう思う、②少しそう思う)が、5%以上増加した項目について網かけをしている。

パーセント表示(四捨五入)のため、合計値が100にならないことがある。

令和元年度 SGH アンケート結果 平成 29 年度入学生 (3 年生)

令和元年度SGHアンケート結果			平成29年度入学生													
分野	設問内容	回答	1年次(H29)			2年次(H30)			3年次(R01)			1年次		3年次		増減
			第1回	第2回	増減	第1回	第2回	増減	第1回	第2回	増減	第1回	第2回	増減		
			H29.5	H30.2		H30.6	H31.2		R01.5	R02.1		H29.5	R02.1			
国際意識	1 日本文化や歴史に興味がある	①②	62	74	12	67	78	11	77	71	-6	62	71	9		
		③④	38	26		33	23		23	29		38	29			
	2 日本文化や歴史は外国から正しく理解されていると思う	①②	49	56	7	60	58	-3	56	73	17	49	73	24		
		③④	51	44		40	43		44	27		51	27			
	3 日本の未来は自分たちの努力で変えていけると思う	①②	72	88	16	64	83	18	79	76	-4	72	76	4		
		③④	28	12		36	18		21	24		28	24			
	4 世界文化や歴史に興味がある	①②	55	61	6	53	73	19	69	68	-2	55	68	13		
③④		45	39		47	28		31	33		45	33				
5 国際社会で起きている問題に興味がある	①②	38	55	17	53	63	9	69	63	-6	38	63	25			
	③④	62	45		47	38		31	37		62	37				
6 世界の文化の中で、日本の文化が自分にとって一番良いと思う	①②	79	82	3	73	93	19	77	78	1	79	78	-1			
	③④	21	18		27	8		23	22		21	22				
7 国と国の対立を話し合いで解決するのは可能であると思う	①②	77	70	-7	67	75	8	67	59	-8	77	59	-18			
	③④	23	30		33	25		33	41		23	41				
環境問題	8 地球温暖化などの環境問題に興味がある	①②	49	59	10	51	60	9	69	66	-3	49	66	17		
		③④	51	41		49	40		31	34		51	34			
	9 環境問題解決のために私たちにできることは多くあると思う	①②	77	86	9	67	78	11	79	80	1	77	80	3		
		③④	23	14		33	23		21	20		23	20			
	10 日本は環境問題解決のために良く努力していると思う	①②	49	50	1	44	55	11	49	34	-15	49	34	-15		
③④		51	50		56	45		51	66		51	66				
11 これからもっと環境問題について勉強したい	①②	51	43	-8	42	45	3	36	49	13	51	49	-2			
	③④	49	57		58	55		64	51		49	51				
英語	12 英語を学ぶのは好きである	①②	43	43	0	42	50	8	49	49	0	43	49	6		
		③④	57	57		58	50		51	51		57	51			
	13 自分は将来、英語力が必要だと思う	①②	62	66	4	62	73	10	67	63	-3	62	63	1		
		③④	38	34		38	28		33	37		38	37			
	14 英語で自分の考えを伝えたり発表(プレゼンテーション)したりする力は必要であると思う	①②	63	66	3	75	75	0	67	78	11	63	78	15		
		③④	37	34		25	25		33	22		37	22			
	15 自分は外国人とのコミュニケーションが 苦手である	①②	81	86	5	78	73	-5	69	76	6	81	76	-5		
③④		19	14		22	28		31	24		19	24				
16 語学力を測る試験(英検、TOEIC、TOEFL、IELTSなど)を受けたい	①②	43	34	-9	29	40	11	36	37	1	43	37	-6			
	③④	57	66		71	60		64	63		57	63				
17 コミュニケーションスキルとして英語をもっと伸ばしていきたい	①②	60	80	20	64	73	8	72	76	4	60	76	16			
	③④	40	20		36	28		28	24		40	24				
将来の勉強・留学	18 高校時代に海外研修がしたい	①②	43	36	-7	33	35	2	33	34	1	43	34	-9		
		③④	57	64		67	65		67	66		57	66			
	19 大学時代に海外留学がしたい	①②	19	39	20	24	38	13	36	34	-2	19	34	15		
		③④	81	61		76	63		64	66		81	66			
	20 海外の大学に進学したい	①②	9	16	7	13	23	9	13	20	7	9	20	11		
		③④	91	84		87	78		87	80		91	80			
	21 将来やってみようと思う仕事がある	①②	70	74	4	64	68	3	74	78	4	70	78	8		
③④		30	26		36	33		26	22		30	22				
22 将来は国際的な仕事がしたい	①②	17	26	9	24	36	11	31	34	3	17	34	17			
	③④	83	74		76	64		69	66		83	66				
意見発表・プレゼン	23 グループ活動するとき、自分自身の考えをはっきり出せる	①②	47	57	10	49	60	11	59	56	-3	47	56	9		
		③④	53	43		51	40		41	44		53	44			
	24 グループ活動するとき、まとめ役(リーダー)ができる	①②	32	41	9	38	43	5	38	41	3	32	41	9		
		③④	68	59		62	58		62	59		68	59			
	25 人前で発表するのは得意である	①②	15	27	12	31	35	4	49	29	-19	15	29	14		
③④		85	73		69	65		51	71		85	71				
26 コンピューターなどICTを使った発表は得意である	①②	13	20	7	22	33	10	33	32	-2	13	32	19			
	③④	87	80		78	68		67	68		87	68				
その他	27 地元(能勢地域)の文化や歴史に興味がある	①②	46	43	-3	36	43	7	41	37	-4	46	37	-9		
		③④	54	57		64	58		59	63		54	63			
	28 将来地元(能勢地域)で働きたい	①②	23	25	2	18	23	5	33	29	-4	23	29	6		
		③④	77	75		82	77		67	71		77	71			
29 ボランティア活動全般に興味がある	①②	43	50	7	49	50	1	59	56	-3	43	56	13			
	③④	57	50		51	50		41	44		57	44				
30 海外でのボランティア活動に興味がある	①②	33	41	8	42	38	-5	36	44	8	33	44	11			
	③④	67	59		58	63		64	56		67	56				

①そう思う ②少しそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない [数値:%]
 肯定的な回答(①②)が、5%以上増加した項目について網かけをしている。
 パーセント表示(四捨五入)のため、合計値が100にならないことがある。

令和元年度 SGH アンケート結果 SGH 各学年年度越え結果

分野		設問内容	令和元年度入学生				平成30年度入学生			平成29年度入学生		
			回答	1年次		増減	1年次		増減	1年次		増減
				第1回	第2回		第1回	第2回		第1回	第2回	
			R01.5	R02.2		H30.6	R02.2		H29.5	R02.1		
国際意識	1	日本の文化や歴史に興味がある	①② ③④	62 38	64 36	2	61 39	82 18	21	62 38	71 29	9
	2	日本の文化や歴史は外国から正しく理解されていると思う	①② ③④	50 50	46 54	-4	45 55	54 46	8	49 51	73 27	24
	3	日本の未来は自分たちの努力で変えていけると思う	①② ③④	73 27	75 25	2	71 29	71 29	0	72 28	76 24	4
	4	世界各国の文化や歴史に興味がある	①② ③④	53 47	50 50	-3	52 48	61 39	9	55 45	68 33	13
	5	国際社会で起こっている問題に興味がある	①② ③④	30 70	39 61	9	48 52	75 25	27	38 62	63 37	25
	6	世界の文化の中で、日本の文化が自分にとって一番良いと思う	①② ③④	77 23	64 36	-12	81 19	86 14	5	79 21	78 22	-1
	7	国と国の対立を話し合いで解決するのは可能であると思う	①② ③④	67 33	64 36	-2	61 39	71 29	10	77 23	59 41	-18
環境問題	8	地球温暖化などの環境問題に興味がある	①② ③④	33 67	43 57	10	65 35	68 32	3	49 51	66 34	17
	9	環境問題解決のために私たちにできることは多くあると思う	①② ③④	77 23	68 32	-9	90 10	75 25	-15	77 23	80 20	3
	10	日本は環境問題解決のために良く努力していると思う	①② ③④	53 47	43 57	-10	55 45	36 64	-19	49 51	34 66	-15
	11	これからもっと環境問題について勉強したい	①② ③④	40 60	39 61	-1	52 48	54 46	2	51 49	49 51	-2
英語	12	英語を学ぶのは好きである	①② ③④	40 60	36 64	-4	68 32	61 39	-7	43 57	49 51	6
	13	自分は将来、英語力が必要だと思う	①② ③④	70 30	54 46	-16	84 16	82 18	-2	62 38	63 37	1
	14	英語で自分の考えを伝えたり発表(プレゼンテーション)したりする力は必要であると思う	①② ③④	67 33	46 54	-20	87 13	86 14	-1	63 37	78 22	15
	15	自分は外国人とのコミュニケーションが苦手である	①② ③④	67 33	61 39	-6	77 23	96 4	19	81 19	76 24	-5
	16	語学力を測る試験(英検、TOEIC、TOEFL、IELTSなど)を受けたい	①② ③④	20 80	21 79	1	52 48	46 54	-5	43 57	37 63	-6
	17	コミュニケーションスキルとして英語をもっと伸ばしていきたい	①② ③④	70 30	54 46	-16	90 10	86 14	-5	60 40	76 24	16
将来の勉強・留学	18	高校時代に海外研修がしたい	①② ③④	13 87	21 79	8	45 55	25 75	-20	43 57	34 66	-9
	19	大学時代に海外留学がしたい	①② ③④	10 90	18 82	8	42 58	36 64	-6	19 81	34 66	15
	20	海外の大学に進学したい	①② ③④	7 93	7 93	0	6 94	11 89	4	9 91	20 80	11
	21	将来やってみたい仕事の目標がある	①② ③④	63 37	54 46	-10	74 26	68 32	-6	70 30	78 22	8
	22	将来は国際的な仕事がしたい	①② ③④	20 80	14 86	-6	45 55	39 61	-6	17 83	34 66	17
意見発表・プレゼン	23	グループ活動するとき、自分自身の考えをはっきり出せる	①② ③④	43 57	43 57	0	52 48	64 36	13	47 53	56 44	9
	24	グループ活動するとき、まとめ役(リーダー)ができる	①② ③④	23 77	21 79	-2	35 65	25 75	-10	32 68	41 59	9
	25	人前で発表するのは得意である	①② ③④	27 73	25 75	-2	27 73	36 64	9	15 85	29 71	14
	26	コンピューターなどICTを使った発表は得意である	①② ③④	17 83	18 82	1	29 71	32 68	3	13 87	32 68	19
その他	27	地元(能勢地域)の文化や歴史に興味がある	①② ③④	37 63	39 61	3	55 45	54 46	-1	46 54	37 63	-9
	28	将来地元(能勢地域)で働きたい	①② ③④	20 80	18 82	-2	30 70	25 75	-5	23 77	29 71	6
	29	ボランティア活動全般に興味がある	①② ③④	20 80	32 68	12	61 39	64 36	3	43 57	56 44	13
	30	海外でのボランティア活動に興味がある	①② ③④	17 83	25 75	8	52 48	39 61	-12	33 67	44 56	11

①そう思う ②少しそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない [数値:%]
肯定的な回答(①そう思う、②少しそう思う)が、5%以上増加した項目について網かけをしている。
パーセント表示(四捨五入)のため、合計値が100にならないことがある。

アンケートについて

全生徒について、第1回を令和元年5月に実施した。第2回は、1、2年生については令和2年2月、3年生については令和2年1月に実施した。なお、設問分野は、「国際意識」「環境問題」「英語」「将来の勉強・留学」「意見発表・プレゼンテーション」「その他」とした。

●全体の分析

1年生については今年度の第1回と第2回を、2年生については前年度の第1回と今年度の第2回を、3年生については前前年度の第1回と本年度の第2回を比較し分析した。

1年生および2年生においては、肯定的な回答とともに否定的な回答もやや多く見られた。これは、本年度は1年生、2年生はSGH対象外生徒となり、対象生徒と比べると学習や活動の機会が減少しているためと考えられる。ただしSGH継承事業の活動も軌道に乗り出しており、今後さらに様々な学習や活動を強化され、肯定的な回答の比率が増加すると予想される。3年生については肯定的な回答が増加し、SGHでの様々な学びが自己肯定感や将来展望にプラスの影響をもたらしていることがうかがえる。

これらのことから、本校のSGH事業の研究計画及び具体的目標は達成できており、計画通り進捗したと考えられる。

●各学年について

分野	1年生	2年生	3年生
国際意識	「国際社会で起こっている問題に興味がある」の項目で顕著な増加。世界で起こっている不安定な国際情勢から生徒が海外のニュースなどに注目している様子が見える。日本の文化が自分にとって一番良いと思うと答えた生徒が減少したことにより、異文化について学び、受け入れようとする態度が育成されてきたことがうかがえる。	7項目中6項目で顕著な増加。国際社会で起こっている問題に興味があるが特に増加した。同時に、日本の文化や歴史に興味がある生徒も大きく増加した。SGH活動やマレーシア修学旅行で実際に海外を訪れ、現地の人々と交流する機会を経験したためだと考えられる。修学旅行ではマレーシアで日本文化の紹介をする機会もあった。	7項目中5項目で増加。日本の文化や歴史が外国から正しく理解されていると思う生徒が増加した。マレーシア修学旅行で現地姉妹校と交流し、マレーシアの学生たちが日本に興味を持ち日本のことをよく知っていると感じたからだと考えられる。過半数の生徒が世界の文化・歴史に興味があると答えていて、生徒たちの海外での経験が役立っている。
環境問題	4項目中3項目で減少。特に日本は環境問題解決のためによく努力していると思うと答えた生徒が減少した。今年度はドイツの先進的な環境対策についての学習も行われているので、日本の現状についてより厳しい意見を持っていることがうかがえる。「環境問題に興味がある」では大きな増加が見られる。	4項目中2項目で大きく減少。1年生と同様、日本は環境問題解決のためによく努力していると思うと答えた生徒が減少した。また、環境問題解決のために私たちにできることは多いと思うと感じる生徒が減少した。SGH講座で環境問題の現実に接する機会も多く、少しマイナス思考になっている傾向がある。	4項目中2項目で増加。環境問題に興味がある生徒が大きく増加する一方で、日本は環境問題解決のためによく努力していると思う生徒が減少した。SGH講座で環境問題に取り組み、第一線で活躍する方々の講演を聞き意識の変化が起きていると考えられる。自分たちで何かできると考える生徒は80%を超える。
英語	6項目中5項目で緩やかな減少。英語の必要性は強く感じているが、それが英語学習の意欲に結びついていないようである。コミュニケーションスキルとして英語をもっと伸ばしていきたいと答えた生徒は1回め、2回めとも半数以上を超えている。今後この意欲を活かせるような方策が必要。	6項目中6項目で減少が見られる。コミュニケーションスキルとしての英語をもっと伸ばしていきたいと考える生徒が多い一方で、外国人とのコミュニケーションが苦手であると考える生徒がかなり多い。今後留学生との交流の機会を増やすなど実践の場を増やす必要がある。	6項目中5項目で増加。英語を学ぶのは好きであるという生徒が増加し、コミュニケーションスキルとしての英語をもっと伸ばしていきたいと考える生徒や、その重要性を認識している生徒が8割近くいた。英語に対して苦手意識を持つ生徒も減少している。

分野	1年生	2年生	3年生
将来の勉強・留学	5項目中3項目でやや減少。 全体に減少率は小さいのでほぼ変化がなかったと考えられる。高校時代、大学時代に海外留学がしたいと思う生徒が増加した。SGHが始まり実際に海外留学する生徒が増加し、大きな刺激を受けたものと考えられる。	5項目中5項目で減少。 高校時代に海外研修がしたいと思う生徒が大きく減少。世界で同時多発的に発生している不安要素に敏感に反応し、日本を離れ海外に出かけることの安全性に不安を感じているためかもしれない。ただし、大学時代に海外留学をしたい生徒は増加している。	5項目中4項目で増加。 大学で留学したい、将来国際的な仕事がしたいと答えた生徒が大きく増加した。3年間のSGH活動で、モンゴルやマレーシアでの研修を経験し、現地で様々な分野で活躍している人々と接し、自分の将来像を描きやすかったためだと考えられる。
意見発表・プレゼン	4項目中ほとんど変化がなかった。 コンピューターなどのICTを使った発表が得意ではないと思っている生徒がアンケートの1回め、2回めと8割を超えていた。1年生は課題研究発表の機会が少なく、経験不足から苦手意識を持っていると考えられる。	4項目中3項目で顕著な増加。 自分の考えをはっきり出せる、人前で発表するのは得意であると答えた生徒が増加した。マレーシア修学旅行では姉妹校の生徒の前で発表する機会もあり経験に裏打ちされた自信がついてきている。コンピューターなどICTを使った発表は得意な生徒がやや増加し、課題研究でICTを実践的に活用している成果が表れた。	4項目中4項目で増加。 グループ活動をするときのまとめ役(リーダー)ができる、コンピューターなどICTを使った発表は得意であると考えられる生徒が増加した。また、人前で発表することに自信を持っている生徒が増加した。課題研究発表会、地域の小学校、中学校での発表、その他外部での発表と、発表機会が多かったためであると考えられる。
その他	4項目中2項目で増加。 「ボランティア活動に興味がある」が大きく増加している。SGH講座で国内、海外でボランティアとして活躍する人々の経験に接した影響だと考えられる。	4項目中3項目で減少。 ボランティア活動全般に興味上がる生徒は増加したが、海外でのボランティア活動に興味がある生徒は減少。海外での活動に対して消極的な側面がうかがえる。	4項目中3項目で増加。 国内、海外でのボランティアに興味を持つ生徒が増加した。また、将来地元で働きたいと思う生徒が増加した。グローバル+ローカルの視点で学んできた成果だと考えられる。

② 自己変容評価アンケート

授業開始時の1学期4月と課題研究最終発表の終了した3学期2月の自己の変容についてSG・GS重点講座受講生(16名)にアンケートを実施した。それぞれの分野の自分の「力」について以下の1～5の段階で自己評価をした。

力が… 1 ない 2 あまりない 3 ややある 4 かなりある 5 自信がある

Q1	問題・課題発見力	何か問題か課題は何かを見つけ出し、解決しようとする力	1	2	3	4	5
Q2	コミュニケーション力	自分の意見をうまく伝え、相手の気持ちや意見を引き出して聞く力	1	2	3	4	5
Q3	リーダーシップ力	グループ活動で周りの人に呼びかけたり働きかけたりする、前向きな提案をする力	1	2	3	4	5
Q4	発信力・発表力	自分の考えを発表し、他者の共感を引き出せる力	1	2	3	4	5
Q5	ICT活用力	コンピューターやインターネットを活用して必要な情報を集める力、その情報を文章や表に表す力	1	2	3	4	5
Q6	多様性の理解力	他の国のことであっても理解しようとする、自分とは違う人々の考え方を認めるようとする態度	1	2	3	4	5
Q7	論理的な思考力	筋道を立てて物事を考える力、物事の背景や理由などについて多面的に考える力	1	2	3	4	5
Q8	失敗・摩擦に対する姿勢	行き詰っても粘り強く努力を続ける力	1	2	3	4	5
Q9	変化に対する姿勢	見知らぬ人や土地のなかでも積極的に活動でき、はじめての事態や困難な問題にも取り組める力	1	2	3	4	5
Q10	英語プレゼンテーション力・英語活用力	英語によって発表する力、英語によって自分の考えを表したりする力	1	2	3	4	5

アンケートの結果は以下の通りであった。

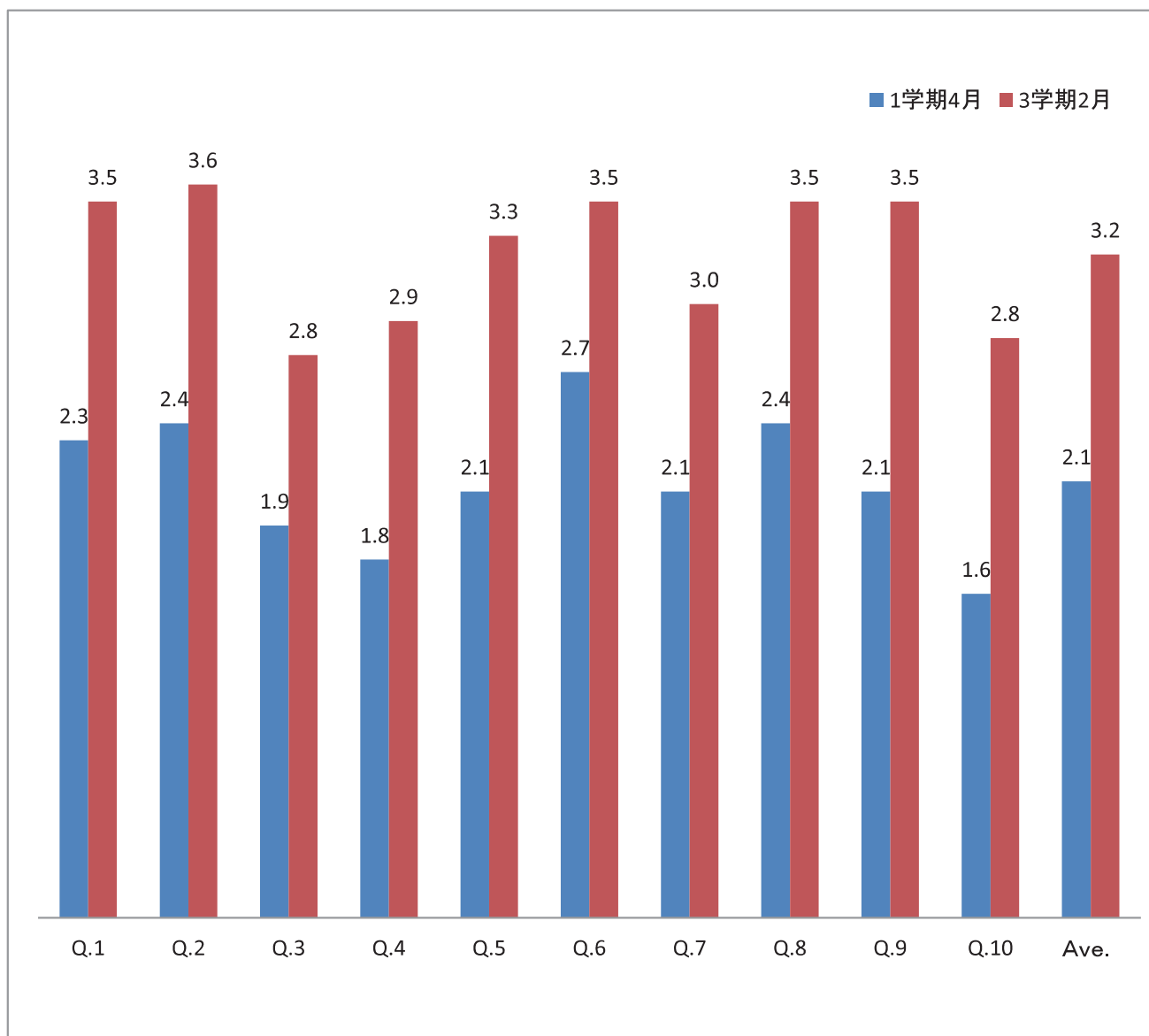
「Q1. 課題発見・解決力」が大きく伸びた。SGH活動の中で、外部講師の方々の講座や、海外実地調査でのフィールドワーク、研究発表会・地元小中学校での発表、地域外に出かけての発表などのために課題をまとめて分かりやすく伝える経験の中で、筋道を立てて物事を考える力をつけることができたと考えられる。

「Q2. コミュニケーション力」が伸びた。課題研究をグループで進めていく過程で意見の違いや視点の違いをぶつけ合いながら調整し一つの結論をめざした経験の中でコミュニケーション力が培われたと考えられる。

「Q6. 多様性の理解力」の項目で高い数値が見られた。海外実地調査でモンゴルやマレーシアを訪れたり、修学旅行でマレーシアの姉妹校の生徒と交流したり、留学生と交流を通して多様性を受け入れようとする態度が培われたと考えられる。

「Q8. 失敗・摩擦に対する姿勢」の項目で高い数値が見られたのは、課題研究を進める過程で、粘り強く課題に取り組んだ経験から得た自信によるものと考えられる。

「Q9. 変化に対する姿勢」の項目については、海外実地調査、マレーシア修学旅行、留学生との交流で、異文化や生活習慣の違う人々と接するが増え、自分の考えや価値観と異なるものに対する許容性と寛容性が涵養されたためだと考えられる。



上記のアンケートを行った後、さらに、これらの10の力の中で特に自分が伸びたと思う力を2つ選び、以下のようなシートに記述した。

1年間の振り返りシート	
3年__組__番 氏名_____	
あなたが伸びたと感じる「力」を2つ選んで、それに関して以下に書いてください。 内容は、あなたが体験したことや感じたことなど、できるだけ詳しく書きましょう。	
1つ目	番号 () _____
その力は、どんなことをする中で伸びたと感じましたか。(時・場所・状況)	

その時、何に苦労したり、どんなことを感じましたか。	

さらにその力を伸ばすために何をどうすれば良いと思いますか。	

これらの生徒の記述からキーワードを抜き出し、一人ひとりの学びと成長を読み取った。学びの段階を以下の「S、A、B、C、Dの5つ学びの段階」に分類した。

学びの段階	記述から分かる学びの形
S 自分の生き方にかかわる変容が起こる	気付きにより自分の態度や行動に変化が起き、考え方や生き方の変化につながっていく
A 自分の価値やあり方に気付く	自分の可能性の発見により、「自己のありかた」や「社会と自分とのつながり」などに気付く
B 自分の可能性を発見	学習を通じて、獲得した知識や深めた経験が自分の中で消化され始め、自分自身を客観化したり、自分の可能性に気がついたりして学習欲求が飛躍的に高まる
C 知識・経験の獲得	学習を通じて、知識・経験が増したり広がったりしていく
D 知識・経験の獲得が不十分である	学習を通じて獲得した知識や経験が充分であるとは言えない

この評価は、生徒による文章表記の自己評価を分析することで、生徒の学びと変容を読み取り、本校がめざすグローバル人材として必要な「力量」がSGHプログラムの中でどのように育ったかを考察するものである。本校の目標は「A」以上の力であるが、それに達せない生徒には、どのような指導・助言・励ましが必要か、また、どのようにSGHプログラムを改善したらよいかを明確にすることが本評価の目的である。

この評価に当たって、受講生徒の担任・教科指導の教師と相談し、毎回の講座後に書いた「振り返りシート」(講座の振り返りを300字程度でレポートにまとめたもの)を分析し、講座を録画したビデオを見て講座中の生徒の発言や反応などを見て、評価が実態と合っているか検討した。評価結果は以下の通りであった。

S	A	B	C	D	合計
2名	4名	5名	5名	0名	16名

～生徒の感想～「1年間を振り返って」

- ・様々な人の意見を聞き、自分たちと異なる見方や考え方に触れ、考え方の幅を広げることが大切だと思った。
- ・普通に生活をしていたら、地元能勢について深く考えることはなかったと思う。課題研究を通して能勢の課題をたくさん発見できた。この経験を生かし前進していきたい。
- ・能勢は都会に比べて不便なことも多いが、逆に能勢にしかないもの、能勢でしかできないことがあることに気付いた。
- ・課題研究を進める中で、地元の人々や講師で来校していただいた方々など、たくさんの人々にお世話になった。良い経験になった。
- ・SGH 活動や課題研究をやる中で、自分で考えたことを実際にやってみようという行動力がついた。
- ・能勢だけでなく、世界のどんな場所でもいろいろな問題や課題があることに気付いた。問題を解決できるような実力をつけていきたい。
- ・課題研究でパームオイルが引き起こしている問題に取り組み、この問題は多くの人々に知ってもらう必要があると感じた。これからもっと研究を続け、より多くの人に知ってもらう活動をしていきたい。
- ・日本でパームオイルがこんなにも多くの製品に使われていることを知り、すごく身近な問題だと気付いた。もっと調べて探究を続け、この問題について自分にできることをしていきたいと思った。
- ・海外実態調査でドイツとマレーシアを訪れ、外から能勢を見ることで能勢の良い点が見えてきた。課題研究では、この外部からの視点で能勢を活性化するプランを研究してきたが、この研究をさらに進め、若い人たちが住みたくなるような能勢を作っていきたい。
- ・海外で学んだことを能勢に活かす課題研究を進めてきたが、文化や歴史、国民性の違いがあると感じた。海外の実践例をそのまま能勢に導入してうまくいかない点もあると思う。今後もっと研究を深めていきたい。
- ・SGH の課題研究を通して、能勢町の問題を役場や大人に任せるのではなく、自分たちで何ができるかを考えるようになった。海外での経験や学びが大きな財産となった。
- ・今回の課題研究では能勢活性化の具体的な事業案を考えたが、それを発表して自己満足に終わるのではなく、さらに研究を続け、実現できるように頑張りたい。
- ・パームオイルの課題研究を行う中で感じたことは、私たち消費者がもっと商品の背景にあることを知る必要があるということ、そして企業はもっと私たちに情報を知らせる必要があるということでした。
- ・3年間の SGH 活動で一番大切だと感じたことは、行動することの重要性だ。海外実態調査で思い切って現地の人々に話しかけると、いろいろなことを聞くことができたことは貴重な経験だった。
- ・SGH 活動で自分は大きく成長できたと感じた。一つの問題に対していくつかの視点があることを学んだ。たとえば、パームオイルの問題であれば、マレーシア政府の立場、企業の立場、環境 NGO の立場、などいろいろな視点がある。このことは自分の考え方の幅をぐっと広げてくれた。この経験を糧に大学でもしっかり勉強したい。
- ・SGH 活動で海外も含めいろいろな場所を実際に訪れ、多くのことを学ぶことができた。行動することで多くの経験とチャンスを手に入れることができた。今後も、単に知識として学ぶのではなく、行動することを大切にしていきたい。